

2021年12月15日  
入管庁 有識者会議

# オンライン診療の実際

黒木 春郎

医療法人社団 嗣業の会  
外房こどもクリニック

## 略歴

千葉大学医学部卒業 同年小児科学教室入局

千葉大学関連病院勤務、千葉大学医学部文部教官等を経て

2005年 外房こどもクリニック開設 院長（千葉県いすみ市）

2008年 医療法人嗣業の会 理事長

医師・医学博士・公認心理師



---

### ◆学会・検討会など-オンライン診療関連

厚労省 オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会 構成員

日本医師会「オンライン診療研修に関する検討委員会」委員

日本遠隔医療学会 理事 オンライン診療分科会 分科会長

日本医学会連合 オンライン診療に関する検討会議 委員

日本小児科学会社会保険委員会オンライン診療検討WG 委員長

日本プライマリ・ケア連合学会 ICT委員会 副委員長

日本小児科学会 専門医 指導医、日本感染症学会 専門医 指導医 評議員 ほか

### ◆主な著書・論文『オンライン診療を始める前に読む本』中外医学社 2021 ほか

# 今日の課題－入管収容施設での医療

## 外国人医療

- 特殊な疾患の鑑別

## 総合診療

- 特定臓器に限定しない専門性

## 収容施設の特殊性

- 医師患者関係の問題

## アクセスの不利

- 医療過疎地域を類推して

## オンライン診療で何ができるか、できないか。

アクセスの負担  
は消失

画面上の診療

- その方法、診断学
- 動画供覧

後方支援・対面  
診療の確保

オンライン診療  
の実際

- 留意点

導入・運営

# オンライン診療の実際

プライマリ・ケアのための情報サイト オンライン診療診断学ことはじめ



出典/引用：日本プライマリ・ケア連合学会. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）プライマリ・ケアのための情報サイト  
<https://www.pc-covid19.jp/telemedicine-diagnosis.htm>

新型コロナウイルス感染症例の  
動画作成予定

# 「遠隔診療」から「オンライン診療」へ

1990年代  
テレビ電話等の活用(「遠隔診療」)

オンライン診療は「情報通信機器を用いたリアルタイムの診療」として、医療の中に位置づけられている。

1997年12月  
医師法20条、遠隔診療の位置づけ

2015年8月に厚生労働省  
「遠隔診療」事務連絡

2018年3月  
「オンライン診療の適切な実施に関する指針」  
(厚労省医政局)

2020年4月  
時限的・特例的措置

ICT技術の進歩・普及

現場実態の先行

2018年保険収載

2020年4月  
診療報酬改定

# オンライン診療の実際



## オンライン診療の環境

- ▶ 医師は普段使用する電子カルテのPCに向かう。
  - ▶ 患者はPCないしスマホでオンライン診療のサイトにつながる。
- 
- ▶ 安定した電波環境
  - ▶ 患者の顔に光が当たるような採光



## 診療の実際

- ▶ 医師は患者と面談
- ▶ 訴えの確認
- ▶ 問診でのおおよその診断
- ▶ 意識レベル、全身状態を評価
- ▶ 口を開けて咽頭発赤の確認
- ▶ 上半身を見せていただき呼吸状態の確認
- ▶ 上肢の動き、歩行の具合をみることで、ある程度の神経学的評価も可能

## 通訳が同席するなら

- ▶ 患者は通訳とともに画面に向かう
- ▶ 患者は別のスマホないしタブレットで通訳と話し、通訳の映るタブレットを自分と同じ方向に向けて医師に見せる。
  - 通訳と患者が同時に医師に向かい合うことも可能

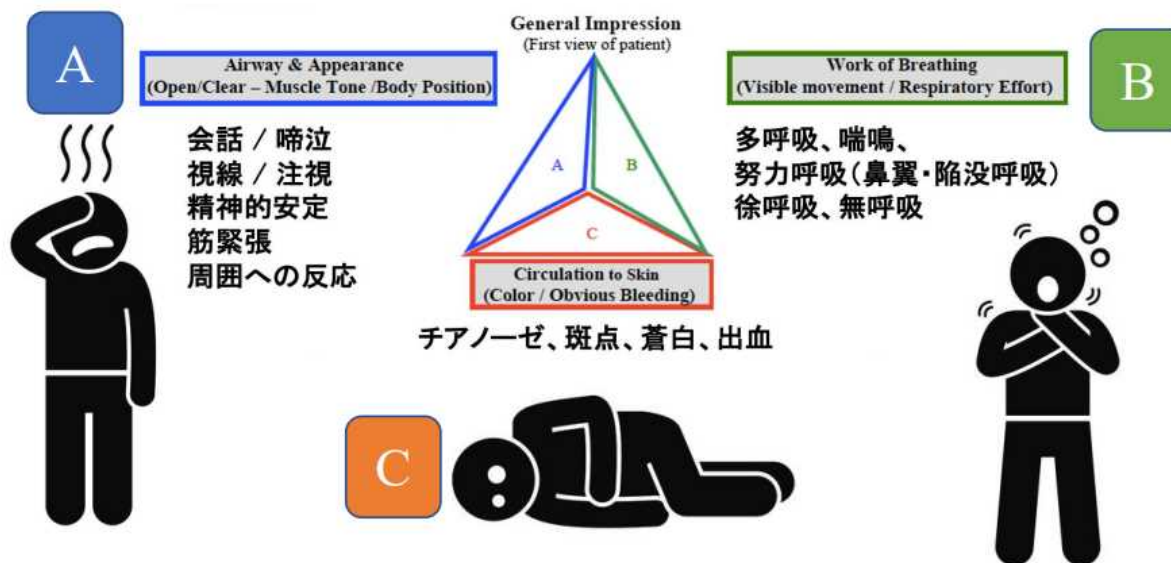
# PAT(Pediatric Assessment Triangle)

## PAT(Pediatric Assessment Triangle)

- ① PAT(Pediatric Assessment Triangle)は患者の「緊急度」を判定するツールです。
- ② 必ずしも直接診察する必要はなく、A-B-Cの3要素で評価します。  
A: Appearance (外観)  
B: Work of Breathing (呼吸状態)  
C: Circulation to Skin (皮膚色)
- ③ 小項目に異常があるかどうかを判断し、1つでも異常がある場合には「PATの異常」として、対面診療や入院診療への切り替えを含め、緊急に準じた対応をします。



PAT はオンライン診療でも可能



- ④ バイタルサイン(呼吸数、脈拍数、体温、経皮酸素飽和度)

出典/引用：公益社団法人日本小児科学会社会保険委員会オンライン診療検討ワーキンググループ。自宅ならびにホテル療養中の新型コロナウイルス感染小児患者(COVID-19 小児)に対するオンライン診療活用の提言。別紙より 2021年9月27日

## オンライン診療の優位点と限界

### 優位点

- ▶ 非対面 感染曝露の危険がない
- ▶ アクセス 距離に関係なく医療行為が可能
- ▶ WEB画面 プライベートな空間で患者に安心感がある

### 限界

- ▶ 処置は不可能
- ▶ 従って、対面診療の確保は前提
- ▶ 触診、聴診は困難
  - ただし、診断の8割は問診で可能であり、診療上の不利はほとんどないだろう。